

地方創生関連交付金活用事業の実施状況及び評価検証（R8年3月末時点）

○デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ）活用事業（令和6年度実施）

No	① 交付対象事業 の名称	②事業内容	③ 事業費 (交付金額) (円)	④アウトプット指標(活動指標)				⑤アウトカム指標(成果指標)				⑥事業評価	担当課	
				概要・測定方法	年度	重要業績 評価指標 (KPI)	実績値	概要・測定方法	重要業績 評価指標 (KPI)	実績値				
1	地籍図デジタル化 構築事業	・地籍調査後の地籍図について、マイラーのみの保存であったため、地籍図の交付申請があった際はその都度、該当地番のマイラーを重ねて印刷する際のズレ等が課題となっている。 ・これをデジタル化することにより、窓口に来られるお客様の待ち(対応)時間の短縮と図面の視認性の改善により住民サービスの向上を図る。	5,500,000 (2,750,000)	【窓口待ち(対応)時間】	2024年度末 (R6年度末)	3.0 分／枚	未計測 分／枚	【窓口利用者満足度】	3.0 ポイント	未計測 ポイント	令和7年4月1日以降に航空写真と重ねた地籍図を交付。 所有者毎に所有している土地が色付けされ、小字毎に全て出力できるため、相続した土地の場所が分からなかった方から特に喜ばれている。 デジタル化により、縮尺や印刷範囲を変更できるようになったため、要望を聞き取りながら変更する時間が増えたことにより、地籍図の交付申請から図面提供までにかかった時間は大幅に短縮はしていないが、申請者の満足度は増している。 職員満足度については、マイラー図面を探しコピーを取る作業がなくなったことに加え、申請者から良い評価をいただいたことにより、導入前と比較して大きく向上した。	税務町民課		
				地籍図の交付申請から図面提供までにかかった時間(令和5年度 約5分/枚) (窓口対応の都度、時間を計測し、交付枚数で除し1枚当たりの所要時間を算出)	2025年度末 (R7年度末)	2.5 分／枚	4.5 分／枚	地籍図の交付申請した人の5段階評価満足度の平均値 (地籍図を交付した後に申請者にアンケート用紙に記入してもらう)	3.5 ポイント	4.7 ポイント				
					2026年度末 (R8年度末)	2.0 分／枚	— 分／枚	【職員満足度】 地籍図の交付申請を対応した職員の5段階評価満足度の平均値 (地籍図を交付した後に職員にアンケート用紙に記入してもらう)	4.0 ポイント	未計測 ポイント				
									4.5 ポイント	4.5 ポイント				
4.5 ポイント	— ポイント													
2	窓口キャッシュレス 決済事業	・各種証明書の交付と会計のほか、戸籍、住所の異動届の受付、国民健康保険・国民年金の加入脱退など一つの窓口で担当しているため、業務の効率化、住民の待ち時間の短縮、利便性の向上が課題となっている。 ・POSレジの導入とキャッシュレス端末の入替えを行ったうえで双方連動させ、一度の入力で会計処理が完結するようにし来庁者の利便性の向上を図る。	1,100,000 (550,000)	【キャッシュレス決済の利用割合】	2024年度末 (R6年度末)	8 %	6 %	【キャッシュレス決済による来庁者の滞在時間の短縮】	35 %	31 %	社会的にキャッシュレス決済が浸透しているため、表示を見てキャッシュレス決済に慣れている方は、スムーズにキャッシュレス決済を申し出るようになった。 前年より役場でもキャッシュレス決済が可能ことが認知されてきている。 職員の端末操作も慣れてきたため、処理にかかる時間はかなり短縮された。 満足度調査の実績値については、前年より2%下がっているが、キャッシュレス決済が普通になっているため、特に感想なしと回答した方がいたため、今後はこのような傾向が増えると思込まれる。	税務町民課		
				手数料収納金の全体件数における、キャッシュレス決済利用割合	2025年度末 (R7年度末)	15 %	8 %	POSレジ導入前会計業務時の来庁者の滞在時間(180秒)に対するPOSレジ導入後の滞在時間短縮の割合 (無作為で月数回、キャッシュレス決済による収納の時間を測定)	50 %	65 %				
					2026年度末 (R8年度末)	20 %	— %	【来庁者の満足度】 キャッシュレス決済利用者の満足度。 (会計時キャッシュレス決済利用者に役場におけるキャッシュレス決済について「とても良い・良い・感想なし」の意見を聞き、「とても良い、良い」の割合を測定)	65 %	— %				
									70 %	100 %				
80 %	98 %													
90 %	— %													
3	学校図書デジタル 環境整備事業	・児童生徒が知識と豊かな感情を育み、創造性を高め、人生をより深く生きる力を身に付けていくうえで欠かすことのできない「読書」をより身近なものとし、学校図書を利用しやすいものとするため、蔵書をデータ化し、貸出、返却作業等の管理を簡素化する。 ・読書傾向の分析、貸し出し状況の把握を行う。 ・一人一台タブレットを活用し、児童生徒が自校の図書館の蔵書を検索したり、児童生徒が自分の読書履歴を閲覧できるようにすることで読書活動を推進する。	7,184,650 (3,592,325)	【子ども一人当たりの児童書貸出冊数】	2024年度末 (R6年度末)	小学生 25 中学生 10 冊	小学生 34 中学生 6 冊	【読書が好きな児童生徒の割合】	小学生 66.0 中学生 57.8 %	小学生 65.0 中学生 65.2 %	子ども一人当たりの貸出冊数は増加しており、一定の効果は得られたものとする。一方で本を読んでいる子は多いが、その割に「読書が好き」と回答した児童の割合が少ないという問題も浮上した。いかに「読書好き」にさせるかが課題となっている。 また、全国学力・学習状況調査の質問項目が変わり、「読書が好きな児童生徒の割合」及び「不読児童生徒の割合」については調査項目がなくなったことから、各校の「学校評価」等で確認。読書が好き・自分から進んで読書をする・毎日読書をする習慣があると回答した児童生徒の割合、及び図書室から一冊も本を借りていない児童生徒の割合により確認した。	教育文化課		
				図書管理システムを活用した、学校図書館での貸出冊数の変容を把握 (図書貸出冊数／全児童生徒数)	2025年度末 (R7年度末)	小学生 30 中学生 15 冊	小学生 53 中学生 11 冊	(「全国学力・学習状況調査」にて確認) (各校の「学校評価」で確認。読書が好き・自分から進んで読書をする・毎日読書をする習慣があると回答した児童生徒の割合)	小学生 66.5 中学生 58.3 %	小学生 61.9 中学生 62.8 %				
					2026年度末 (R8年度末)	小学生 35 中学生 20 冊	— 冊	【不読児童生徒の割合】	小学生 67.0 中学生 58.8 %	— %				
				【子ども一人当たりのタブレット端末での検索件数】 図書管理システムを活用した、タブレット端末での検索件数 (タブレット端末検索件数／全児童生徒数)	2024年度末 (R6年度末)	小学生 50 中学生 20 冊	小学生 27 中学生 6 冊		小学生 11.3 中学生 48.9 %	小学生 1.6 中学生 9.5 %				
					2025年度末 (R7年度末)	小学生 70 中学生 30 冊	小学生 26 中学生 1 冊		小学生 10.8 中学生 48.4 %	小学生 0.4 中学生 4.7 %				
					2026年度末 (R8年度末)	小学生 90 中学生 40 冊	— 冊		小学生 10.3 中学生 47.9 %	— %				
								【図書紹介の掲示の充実(掲示変更回数 の増加)】 学校図書支援員による図書紹介の掲示の変更の回数(3校合計)	6 回	9 回				
									9 回	26 回				
									9 回	— 回				
				4	LINEを活用した DX・住民サービス 向上事業	・既存の公式LINEは、6つのメニュー(防災、子育て、公共交通、ごみ、届出、ワクチン接種)に分かれ、それぞれのメニューから該当するHPへ誘導する機能しか備えていない。また、トークからの一方的な配信のみの機能であり、利用者からの問い合わせなどを受け付ける機能はない。 ・利用者の目的に合わせた通知の受け取りや問い合わせ、各種申請の受付ができる拡充機能を新たに追加するため、「スマート公共ラボ」を導入し、受信設定に応じたメッセージの配信、チャットボット応答、電子申請などの機能を導入し公式LINEを刷新することで、住民の利便性向上と業務の効率化を図り、現在の登録者数の増加を目指す。 ①セグメント配信機能 (受信設定に応じたメッセージの配信) ②チャットボットによる自動応答機能 (住民からの質問にチャットボットで自動対応) ③カレンダー予約機能 (予防接種や施設などの予約申込と受付) ④通報機能 (道路の損傷・不法投棄の通報) ⑤申請・アンケート機能 (申請やアンケートの入力と受付) ⑥電子申請機能 (公的個人認証に対応した住民票の写し等の証明書の申請と受付・手数料のオンライン決済)	6,171,000 (3,085,500)	【大江町LINE公式アカウントの登録者数】	2024年度末 (R6年度末)	800 人			1,031 人	【大江町LINE公式アカウント利用者の満足度】
大江町LINE公式アカウントを友だち追加したユーザー数(R6.2.1時点 569人) (LINE公式アカウントの管理画面で確認し測定)	2025年度末 (R7年度末)	1,600 人	1,807 人					大江町LINE公式アカウントを利用した人の5段階評価満足度の平均値 (アンケート機能を活用し、利用者に入力してもらうことで測定)	3.5 ポイント	3.0 ポイント				
	2026年度末 (R8年度末)	2,000 人	— 人					【AIチャットボットの利用満足度】 AIチャットボットの回答に対する満足度のアンケートで「回答に満足」と答えた割合 (AIチャットボットを利用した後にアンケート画面を表示し、利用者に入力してもらうことで測定)	4.0 ポイント	— ポイント				
【AIチャットボットとの回答数】 質問者とAIチャットボットとの1人1回答での回答数 (スマート公共ラボにより確認し測定)	2024年度末 (R6年度末)	150 回	73 回						50 %	未計測 %				
	2025年度末 (R7年度末)	200 回	150 回						60 %	61.0 %				
	2026年度末 (R8年度末)	250 回	— 回						70 %	— %				
【オンライン申請の利用件数】 オンライン申請の利用した件数 (スマート公共ラボにより確認し測定)	2024年度末 (R6年度末)	60 件	115 件					【オンライン申請の利用者の満足度】	3.0 ポイント	未計測 ポイント				
	2025年度末 (R7年度末)	120 件	206 件					オンライン申請を利用した人の5段階評価満足度の平均値 (サービスを利用した後にアンケート画面を表示し、利用者に入力してもらうことで測定)	3.5 ポイント	1.5 ポイント				
	2026年度末 (R8年度末)	180 件	— 件					4.0 ポイント	— ポイント					